ニュースリリース

2018 年 3 月 7 日
株式会社武漢

小学生向けロボットプログラミング講座「もののしくみ研究室」を提供開始
～プログラミング必修化で真に求められるスキル習得を目指す～

パソコン教室を運営する株式会社武漢（本社：静岡県静岡市清水区袖師町 265 番地の 1、代表取締役：薩川隆）は、自社運営の「パソコン教室 楽趣味館」（所在地：同町 307-1、代表講師：薩川将秀、以下当教室）で、株式会社学研エデュケーショナルが提供する小学生向けロボットプログラミング講座「もののしくみ研究室」を 2018 年 4 月 1 日に開講いたします。また開講にあたり、3 月に体験会を複数回開催します。「もののしくみ研究室」はブロックでロボットを組み立て、それを主にマウス操作と数字入力だけで簡単にプログラミングできるシステムで、理科や算数などの要素を組み合わせ複合的な学習ができるカリキュラムとなっているのが最大の特長です。

「もののしくみ研究室」は小学校学習指導要領を踏まえ、信号機や自動ドアなど身近にあるものをテーマにブロックを組み立て、時に改良を加えたりすることで「創造力」を、プログラミングで試行錯誤することで「論理的思考力」を身に付けるとともに、当たり前に存在するものへの興味・関心・知識を深め、広く社会の仕組みを学べるようになっています。これにより、変わりつつある日本の教育に対応し、21 世紀型スキル（別紙２※１参照）の習得を目指します。取り扱うテーマは初年度 12 種類あり、1 ヶ月に各 90 分の授業を 2 回行い、毎月テーマが変わります。当教室では講師 1 名に対し児童 3 名までと目を配りやすい体制をとります。

「もののしくみ研究室」開講の背景には、文部科学省が 2017 年 3 月に公示した新学習指導要領で 2020 年から小学校でのプログラミング教育必修化を決定し、このプログラミング教育を通して「論理的思考力を身に付けるための学習活動」が求められるようになったこと、海外ではイギリス、ハンガリー、ロシアなどですでに必修化、国内においても公立中高一貫校の適性検査でも出題され始めており、性別や文系理系に関係なく必要とされる時代と言えるのに対して日本国内ではまだプログラミング教育に対する認知度は低く、必修化についても「新たに教科が作られる」「プログラミング言語の習得が目的」といった誤解が生じていますが、文部科学省の小学校学習指導要領総則ではこれらを否定し、前述の「論理的思考力を育む」ことなどが目的であると明記されている（別紙２※２参照）ため、これに対応し、もっとも子どもたちの力になるカリキュラムを模索した経緯があります。

■本件に関するお問い合わせ先

屋号　　：パソコン教室 楽趣味館（らくしゅみかん）
担当者名：薩川 将秀（さつかわ まさひで）
TEL　　：054-368-5334（平日 9:00～18:00、土・祝 9:00～17:00）
FAX　　：054-366-8451
E-mail　：rakushumi-kan@nifty.com
URL　　：https://school.rakushumi.jp

☆その他補足事項、写真、会社概要は別紙をご参照ください。

別紙１

■当教室での「もののしくみ研究室」の特長

１．　プログラミングの中でも一番人気の「ロボット」をブロックで組み立てつつ、信号機や自動ドアなど身近なテーマや紙飛行機発射台など遊び心たっぷりのテーマなどがあり、楽しみながら様々な要素を学べます。
　→21 世紀型スキルの習得に繋がります。

２．　教材にはロボットの作り方に加えて、ものづくり会社が協力した「ものに関すること」が載っており、わかりやすく楽しい総合的な学習が可能です
　→社会、理科、算数、音楽などの要素もあり、様々な教科の成績が上がったという保護者からの報告があります。（もののしくみ研究室パンフレットより）

３．　操作が簡単なブロックプログラミング環境により、子どもたちは試行錯誤することに集中でき、自分で考える力や創造性が身につきます。
　→試行錯誤からの解決により自分へ自信が持てるようになります。

４．　学校帰りに寄れる立地（清水袖師小学校より徒歩 5 分）で、少人数制によりひとりひとりを講師が手厚く見守ります。
　→あくまで主役は子ども、講師は黒子に徹します。

■今後の展開

年に一度、自分が勉強してきたことを発表する場を設ける予定です。それまでに作ったものの応用や、まったく新しいロボットなどテーマを固定せず、保護者や他の児童の前で自分の考えをまとめたものを披露できる自主性と創造力を養うのが目的です。

■体験会スケジュール

2018 年 3 月 12、15、20、28、30 日（平日）16:30～17:30
　　17、21、24、31 日（土・祝）　10:30～11:30、13:30～14:30（1 日 2 回実施）
※記者の方の体験、見学はお問い合わせください。

■会社概要

商号	：	株式会社武漢
代表取締役	：	薩川 隆(さつかわ たかし)
所在地	：	〒424-0037　静岡県静岡市清水区袖師町 265 番地の 1
設立	：	1989 年 2 月
事業内容	：	パソコン教室運営、3D フィギュア作成 他
資本金	：	2,000 万円
URL	：	https://bukan-inc.com/

▼ロボットプログラミング講座「もののしくみ研究室」（パソコン教室楽趣味館）
https://school.rakushumi.jp/mononoshikumi/

▼「もののしくみ研究室」オフィシャルサイト（株式会社学研エデュケーショナル）
http://robot.gakken.jp/

別紙２

※１　21 世紀型スキルとは　国立教育政策研究所 白水始氏の情報公開ページより抜粋

思考の方法	創造性とイノベーション
	批判的思考、問題解決、意思決定
	学び方の学習、メタ認知
働く方法	コミュニケーション
	コラボレーション（チームワーク）
働くためのツール	情報リテラシー
	ICT リテラシー
世界の中で生きる	地域とグローバル社会でよい市民であること（シチズンシップ）
	人生とキャリア発達
	個人の責任と社会的責任（異文化理解と異文化適応能力を含む）

（赤文字部分はロボットプログラミングにて特に習得が期待できるスキルです）

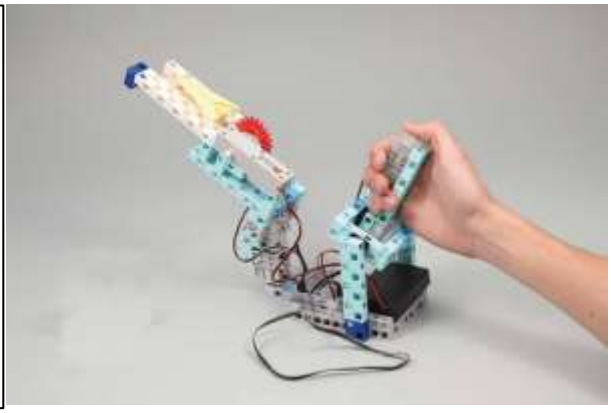
※２　文部科学省　小学校学習指導要領総則　第３節１（３）より抜粋

小学校段階において学習活動としてプログラミングに取り組むねらいは，プログラミング言語を覚えたり，プログラミングの技能を習得したりといったことではなく，論理的思考力を育むとともに，プログラムの働きやよさ，情報社会がコンピュータをはじめとする情報技術によって支えられていることなどに気付き，身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を上手に活用してよりよい社会を築いていこうとする態度などを育むこと，さらに，教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けさせることにある。

■写真

イメージ画像

紙飛行機発射台



■別添資料

・「歩行者用信号機」テーマのテキスト１ページ目と最終ページの見本

・年間プログラミングテーマ表